

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2024.3 March vol.65-1

二月定例議会

災害に備えて防災対策

2月14日～3月14日まで県議会二月定例会が開かれました。提案された令和六年度予算案などすべての議案を可決し閉会しました。

今回も一般質問に立ち、能登半島地震における防災に関わる課題などの質問をしました。

住環境など大規模災害に備える

能登半島地震を受けて、今一度防災対策ができているのか、避難所生活におけるトイレトレーラーなどの装備や仮設住宅用地の確保など防災計画の再点検を求めました。避難所での仮設トイレで女性が被害を受けるなどこれまでも災害のたびに指摘されてきました。安全面や衛生面などを考えると住宅のトイレと違うトイレトレーラーやトイレカーが注目を集めています。イベントでも使用可能なトイレトレーラーの配備を求めました。



避難所での生活が長引けば健康の面でも不調をきたします。早期の仮設住宅の建設が必要ですが、その時に困るのが建設用地です。日頃から仮設住宅の建設予定地を準備しておくことが必要ですが、現在の各市町村の準備状況では大規模災害には十分といえません。そのことを視野に民間用地も含め準備しておくことを求めました。

子どもの主体性を育む

一人一台端末が進む教育の中でデジタルの活用について自分での考える力を養うデジタル・シティズンシップ教育についてしました。や、異学年のグループを通して学ぶ意欲を育むイェナプラン教育について、教員不足の中で考えていくとの答弁でした。

の支援員の拡充や教頭の業務を補助するマネジメント支援員などで配置を求めた教員の確保についてなど、教育に関する質問をしながら意見交換し、一緒に考えていくとの答弁でした。

朝市で皆さんの声を聴く

毎月第一日曜日の朝に開かれるちくや朝市に立憲民主党島根県連代表の亀井亜紀子さんと出かけました。40店近くの出店があり、とても寒い朝でしたが天気が良く、たくさんのお客でにぎわっていました。私たちが各店をのぞきながら出店者の皆さんと言葉を交わしながら買い物しました。途中から東京からの朝一便で来県した立憲民主党泉健太代表も加わり一緒にお店をめぐりました。

農業や漁業に新規就業した人たちや長い歴史を持つ家業を受け継いで頑張っている人たちと、それぞれの取り組みについてお聞きしました。新しく事業



朝市の皆さんと言葉を交わす亀井代表

デジタル懇話会で調査

県議会では、今年度から試行でペーパーレス化に取り組んでいます。各議員にタブレットが貸与され、議会資料のほとんどがデジタル化され、私たちはタブレット上で資料を見たり書き込みをしたりしています。ペーパーレス化によってこれまで予算書はじめ大量の資料が配布され、毎回の議会で資料の山ができていましたが、それも徐々に減らされていきます。

様々な分野でデジタル化が進んでいます。県議会では、その状況と課題について調査研究するDX推進懇話会をつく



遠隔ロボット「OriHime」が概要説明

り、様々な分野においてどのようなデジタル化が進んでいるのか、調査しています。先日も、福祉分野におけるデジタル化の取り組みとして、介護ロボットの導入で人による作業の省力化や、タブレットに要介護者の状況を現場で入力することで帳票等に転記することが省かれるなど、作業や事務の効率化を進めている福祉施設から報告を受けました。こうした取り組みによって職場内の情報共有や業務の明確化によって適切な役割分担ができ、職員の負担軽減につながり、介護の質を上げていくことになっていきます。

人口減少の中、担い手不足が進んでいます。デジタル化によって働く人の負担を軽減し、より効果的な働きができる環境を作っていくことや仕事の質を上げていくことが、サービスを受ける人たちにとってもよりよい生活を送ることができるようになります。デジタル化による課題解決に取り組みながら、研究を進めます。

竹島問題の解決は国が主体となって

2月22日に竹島の日の記念式典が県民会館で開かれました。主催者の丸山知事はあいさつの中で「政府は外交交渉の場で竹島問題を話し合われるよう強く望む」と国に求められました。一方で、政府代表としてあいさつされた内閣府政務官の平沼議員は国民への啓発と世界への情報発信に務めるとの発言に終わりました。



竹島の日を記念して県庁食堂の竹島カレー

漁業に従事する隠岐の人たちをはじめ島根県民は、かつての

ように竹島周辺で漁業を続けたいの思いがあります。両国民が、安全に漁業ができる関係を構築していくには、国同士の話し合いが必要です。そのことを求め、島根県は竹島の日を制定して活動を続けています。

式典では、竹島問題に関する調査・研究等に功績のあった松田和久前隠岐の島町長はじめ4人に感謝状が贈られました。

また、県庁食堂では竹島の日を記念して「竹島カレー」が限定メニューで登場しました。

女性の声が政治を変える

3月8日は国際女性デーです。この日にちなみ、報道各社では、「地域からジェンダー平等研究会」が毎年の女性デーに合わせ「都道府県版ジェンダーギャップ指数」をもとにしたニュースを報道しています。

その記事のランキングで目を引くのが、隣の鳥取県です。鳥取県では、片山知事時代から女性の参画に積極的取り組みされており、今回も行政分野では3年連

続の1位、経済分野でも1位でしました。行政分野で女性の参画を進める意義は大きく、行政の姿勢を見て県民も学ぶところがあり、それが他の分野に波及するのではないのでしょうか。

政治や経済の分野での女性の参画率が低く、そのことが、女性の声が政治に届きにくくなっている現状があります。男女の賃金格差であったり、家事育児の負担が女性に大きくなっていたり、女性活躍と言いながら格差を改善しないままに女性の社会



立憲民主党島根県連役員で街宣